

第44回東海北陸生協行政合同会議報告

■日時：令和4年10月7日(金) 午後1時30分から午後5時

■場所：ハイブリッド形式(石川県の行政、生協のみ ホテル金沢)

東海北陸6県の行政と生協の相互理解を深める事を基本に、今年のテーマを「**脱炭素社会に向けて、私たちができること**」とし、行政からは生協行政の現状を報告いただき、生協からは活動状況を報告しました。

■司会進行 石川県生協連 浅田専務理事



■主催：東海北陸生協県連協議会

(石川・岐阜・静岡・三重・富山・愛知の各県連)

参加者：53名 行政10名、日本生協連3名、講師1名、生協39名

■開催地あいさつ

石川県生協連 会長理事 長谷川隆史
石川県 生活環境部 部長 竹沢淳一様

■主催者あいさつ

東海北陸県連協議会代表 愛知県連会長理事 加藤昭夫

■日本生協連報告

渉外広報本部 渉外部部長 毎田伸一様

「持続可能な地域社会の実現を目指した全国の生協の社会的
取り組みについて」

- ・全国の生協の概況
- ・全国の生協の事業、活動を通じた社会的取り組み



■厚生労働省ごあいさつ・ご報告

社会・援護局 地域福祉課 室長 井上 宏様

生協の宅配、医療、福祉、共済など暮らしを支える事業を通じて、社会機能維持に貢献いただき感謝している。また、共生社会実現に向けて支援体制づくりをすすめているが、日頃からの生協の多種多様な活動には地域社会を支える担い手とし、感謝している。



■特別講演

「脱炭素社会に向けて、私たちができること」

金沢星稜大学 副学長 新 広昭様

- ・SDGsと脱炭素社会
- ・地域脱炭素ロードマップ
- ・炭素社会に向けた取り組み
- ・GXとESG投資
- ・地域の水素社会への挑戦

いま、世界的な問題である気候変動対策などSDGs(持続可能な社会)の実現には、脱炭素社会に向けた取り組みをすすめる必要がある。

地域から脱炭素をすすめていこうと
地域脱炭素ロードマップが示されている。

それには地域の課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる
地方創生への貢献が重要である。

＜各県行政報告＞ ※内容一部抜粋

- (1) 愛知県 県民生活部 県民生活課 河野直樹主事
 - ・愛知県の行う消費者行政について
 - ・生協と行政の連携
- (2) 石川県 生活環境部 生活安全課
 - ・消費生活相談状況
 - ・高齢消費者被害防止の対策について
- (3) 岐阜県 環境生活部 県民生活課
 - ・岐阜県の消費者行政に対する主な取り組み
- (4) 静岡県 暮らし・環境部 県民生活課
 - ・消費者行政推進の主な取り組み
 - ・生協との連携
- (5) 三重県 環境生活部
 - ・消費者行政の基本となる条例
- (6) 富山県 生活環境文化部
 - ・富山県消費者教育推進計画に基づく消費者教育、啓発の取り組み
 - ・エシカル消費の推進



■開催県活動報告

生協コープいしかわ 執行役員 三宅知江

「小松市赤ちゃん紙おむつ定期便の取り組み」

▼全国の生協の概況

▼全国の生協の事業、活動を通じた社会的取り組み

- ・コープ宅配 地域見守りの事例
- ・行政、他団体と連携した子育て支援の取り組み
- ・小松市紙おむつ定期便事業

『おむつの配送の一番大きな目的は「見守り」』

次年度は岐阜県にて開催いたします。
＜2023年10月13日(金)予定＞